

*POWERSP Ver3.02.03*

## 新機能及び修正内容

( 3.02.00 からの変更項目 )

### 汎用

- 1 . 点取得の速度、精度を改善しました。
- 2 . 終了時の保存チェックを必ず行うようにしました。
- 3 . 「自動記憶呼出」画面を変更しました。
- 4 . S P メーカーデータ入力で呼出し画面を変更し、前回呼出した画面を保持するようにしました。
- 5 . 「機器情報確認」コマンドを追加しました。
- 6 . NT系OS ( 2000.XP ) でアイコンにマウスを合わせた時、コマンド名称を表示するようにしました。
- 7 . コマンド名称「線種変更」を「線種変更・削除」に変更しました。

### ダクト

- 1 . 「線種変更」コマンドを開くようにしました。
- 2 . 「系統名・番号」の入力画面を変更しました。

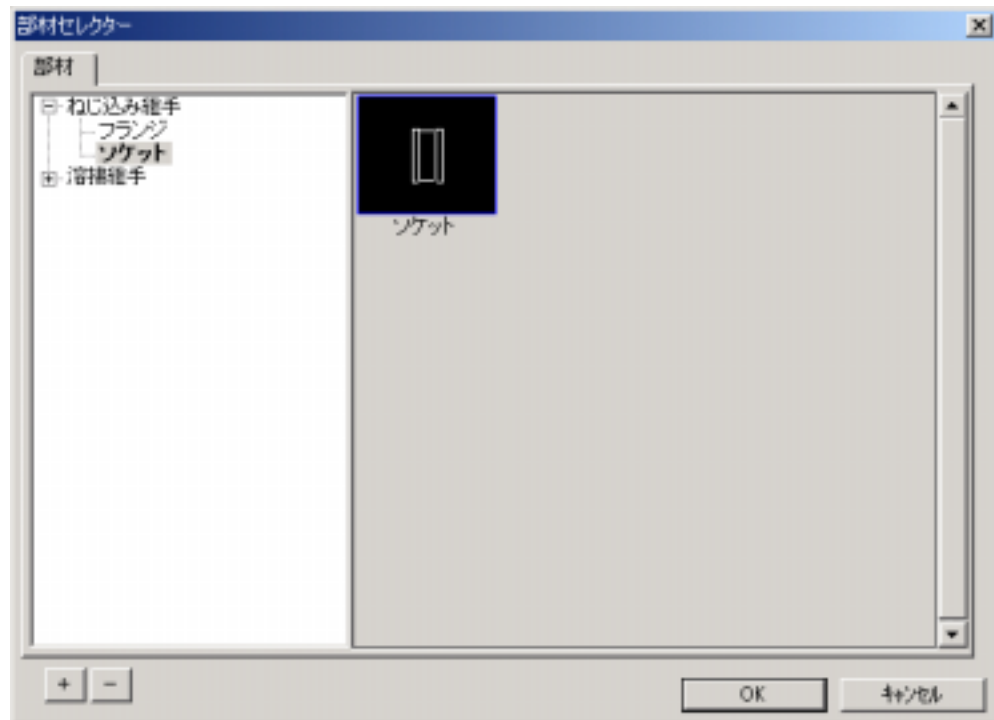
### 配管

1. アイソメ変換コマンドを CAD コマンドとして追加しました。
2. 「フランジ自動配置」コマンドに“切断長入力”機能を追加しました。
3. 「フランジ自動配置」コマンドを“ルート入力”機能に付加しました。
4. 「管種管材確認」コマンドを追加しました。
5. 「サイズ変更」でシンボル部材が変更されない場合があるのを修正しました。
6. 「サイズ変更」で管材にないサイズでは部材が発生しないように修正しました。
7. 配管「スリーブ」を部材表出力に対応するようにしました。

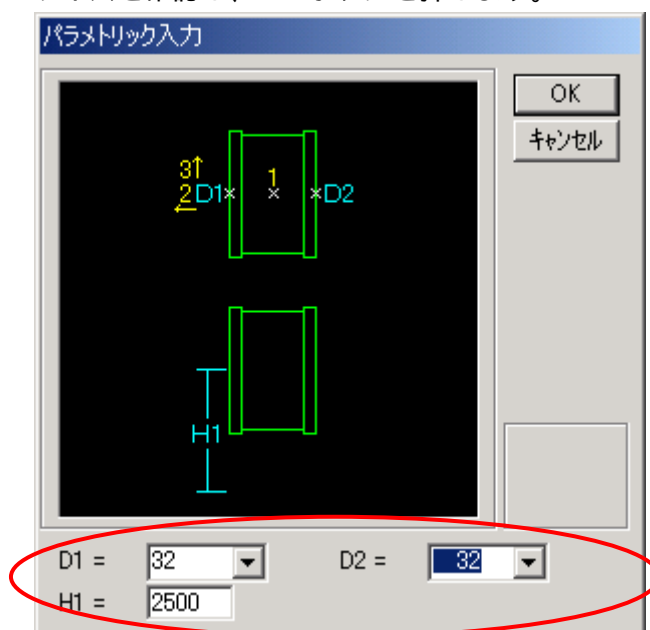
< 操作方法 >

1. 「フランジ自動配置」

配管 自動入力 フランジ自動配置を起動  
フランジまたはソケットを配置する直管を選択します。  
ダイアログが表示されますので、挿入する部材を選択します。

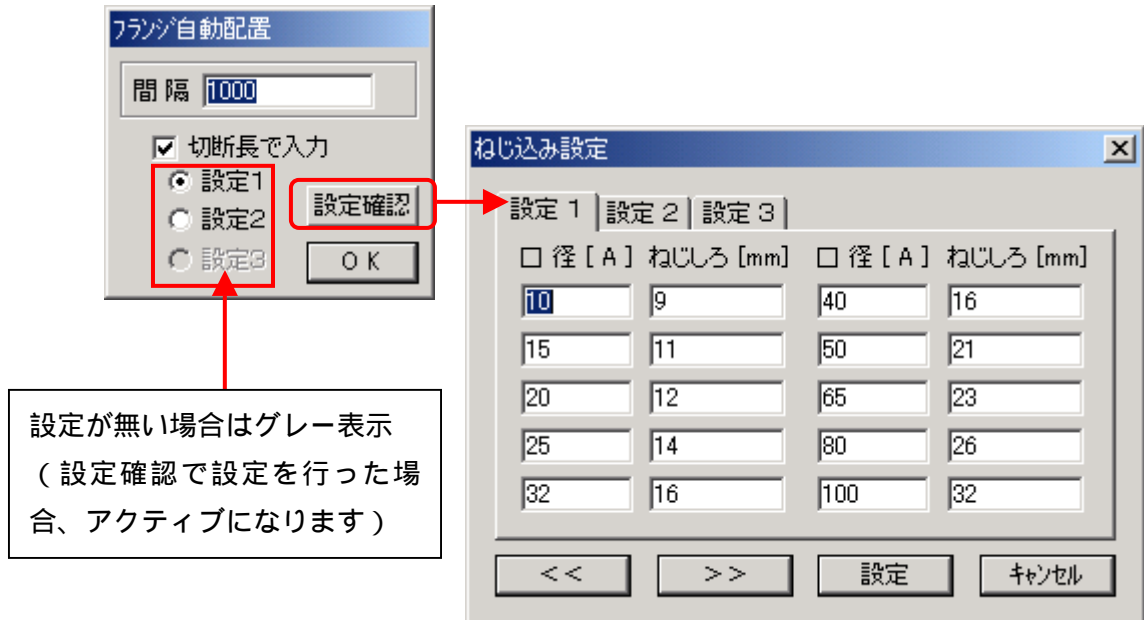


サイズを確認し、OK ボタンを押します。



「間隔入力」ダイアログが表示されます。

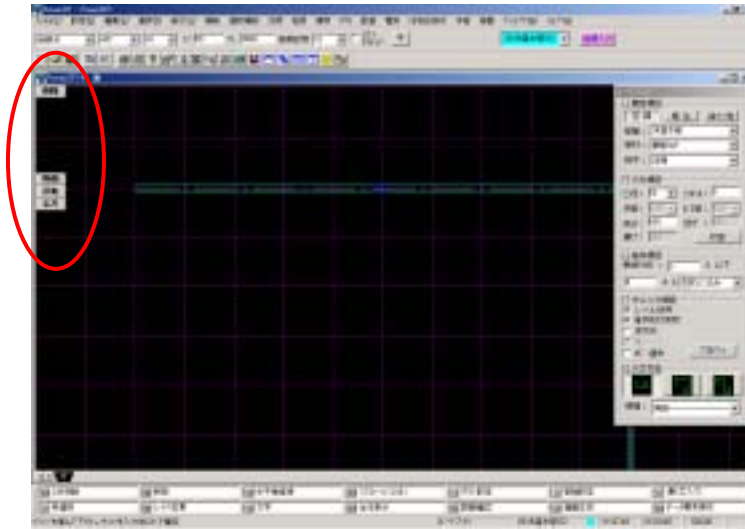
“ 切断長で入力 ” にチェックを入れると各設定の情報が有効になります。



“ OK ” ボタンを押すと選択された部材を挿入します。

## 1 - 1 . ルート入力

ルート入力時はルート確定後、操作ボタンが左上に表示されます。

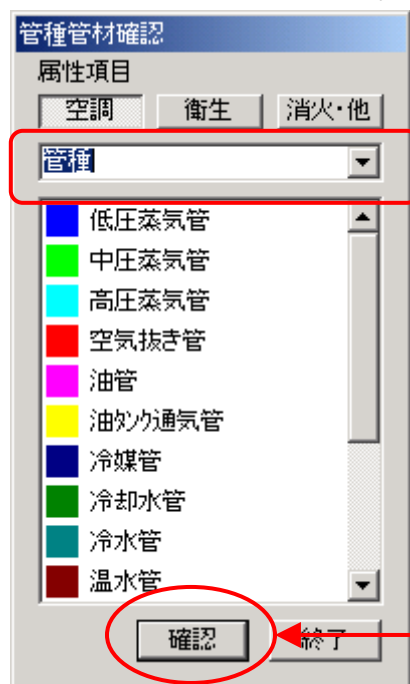


“定尺” ボタンを押すと「フランジ自動挿入コマンド」が起動します。  
処理手順は「フランジ自動挿入」コマンドと同じですが、部材サイズ入力画面は表示しません。  
また、確定後発生した複数の直管が処理対象となります。

## 2. 「管種管材確認」

配管 管種管材確認を起動

下記ダイアログが表示されます。



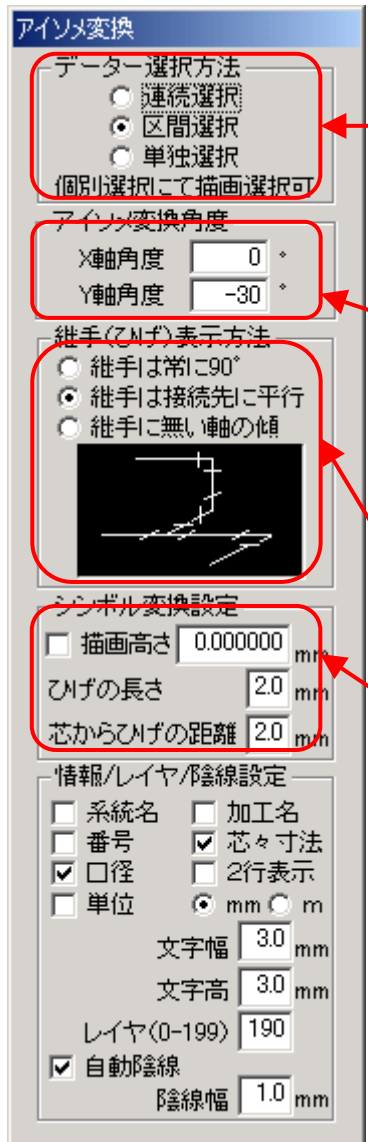
属性項目はルート入力と同じです。

確認ボタンを押すと図面上データがリスト内表示色で表示されます。

### 3. 「アイソメ変換」

配管 アイソメ変換 を起動

下記ダイアログが表示されます。



The dialog box is titled 'アイソメ変換' (Isometric Conversion) and contains several sections:

- データ選択方法** (Data Selection Method): Radio buttons for '連続選択' (Continuous Selection), '区間選択' (Interval Selection), and '単独選択' (Individual Selection). A note below says '個別選択にて描画選択可' (Drawing selection possible with individual selection).
- アイソメ変換角度** (Isometric Conversion Angle): Input fields for 'X軸角度' (X-axis angle) set to 0 and 'Y軸角度' (Y-axis angle) set to -30.
- 継手(ヒズ)表示方法** (Joint (Hiz) Display Method): Radio buttons for '継手は常に90°' (Joint is always 90°), '継手は接続先に平行' (Joint is parallel to the connection), and '継手に無い軸の傾' (Tilt of axis without joint). A small diagram shows a joint.
- シンボル変換設定** (Symbol Conversion Settings): Checkboxes for '描画高さ' (Drawing height) set to 0.000000 mm, 'ヒズの長さ' (Hiz length) set to 2.0 mm, and '芯からヒズの距離' (Distance from core to hiz) set to 2.0 mm.
- 情報/レイヤ/陰線設定** (Information/Layer/Hidden Line Settings): Checkboxes for '系統名' (System name), '番号' (Number), '単位' (Unit) set to mm, '加工名' (Processing name), '芯々寸法' (Core dimensions) checked, '2行表示' (2-line display), '文字幅' (Character width) set to 3.0 mm, '文字高' (Character height) set to 3.0 mm, 'レイヤ(0-199)' (Layer) set to 190, '自動陰線' (Automatic hidden lines) checked, and '陰線幅' (Hidden line width) set to 1.0 mm.

Red callout boxes point to the following settings:

- 標準機能選択** (Standard Function Selection): Points to the 'データ選択方法' section. Text: 'SHIFT + ドラッグ囲み ..... 配管属性以外のデータを選択する事ができます。 CTRL + マウス選択 ..... 配管属性以外のデータを単独選択する事ができます。'
- 角度指定** (Angle Specification): Points to the 'アイソメ変換角度' section. Text: '0 ~ 360度 0 ~ -360度の範囲で X 軸方向の角度を指定できます。 アイソメ角度仕様については、SPACE PLANNER の仕様と同じです。'
- 継手表示** (Joint Display): Points to the '継手(ヒズ)表示方法' section. Text: 'ラジオボタンを切り替えることにより下イメージ図が切り替わります。'
- 描画高さ** (Drawing Height): Points to the 'シンボル変換設定' section. Text: '配管データ以外のデータに高さを持たせたい時に使用します。(陶器類等) 文字をアイソメ化した場合、文字は線分としての扱いになります。'

Enter キー（確定）で図面上にアイソメ図が表示されます。